

# 業務説明

---

【総合職/一般職 農業技術系】

農林水産省

# 目次

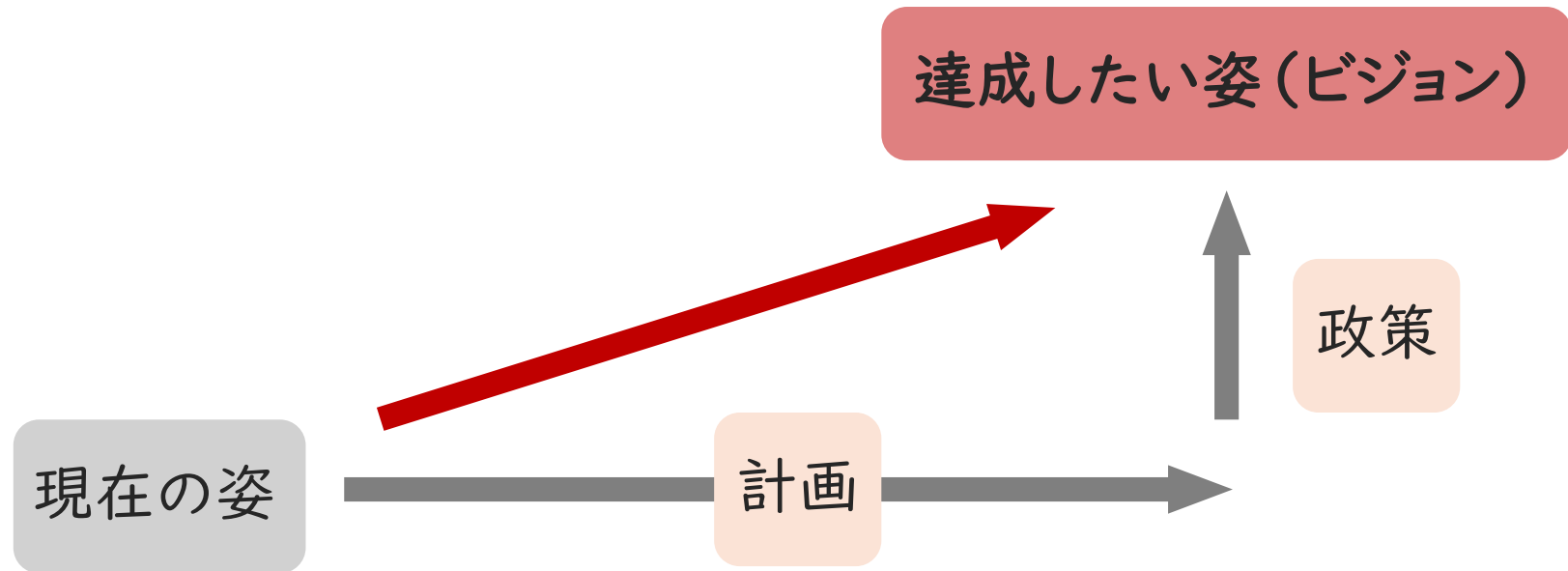
---

1. 農林水産省とは
2. 各部署の概要
3. 働く環境について
4. 農業技術系職員として働くには
5. 質疑応答

# 1. 農林水産省とは

---

# そもそも、国家公務員って何をやってるの？



- いわゆる「**社会をより良くする仕事**」
- ただし、地方自治体や民間企業も、社会を良くするために働いている。  
【違い】 1. 使えるツール（**法律、予算、税制**）  
2. 「**日本全体**」の**利益**を考える役割

# 農林水産省のビジョン・ステートメント

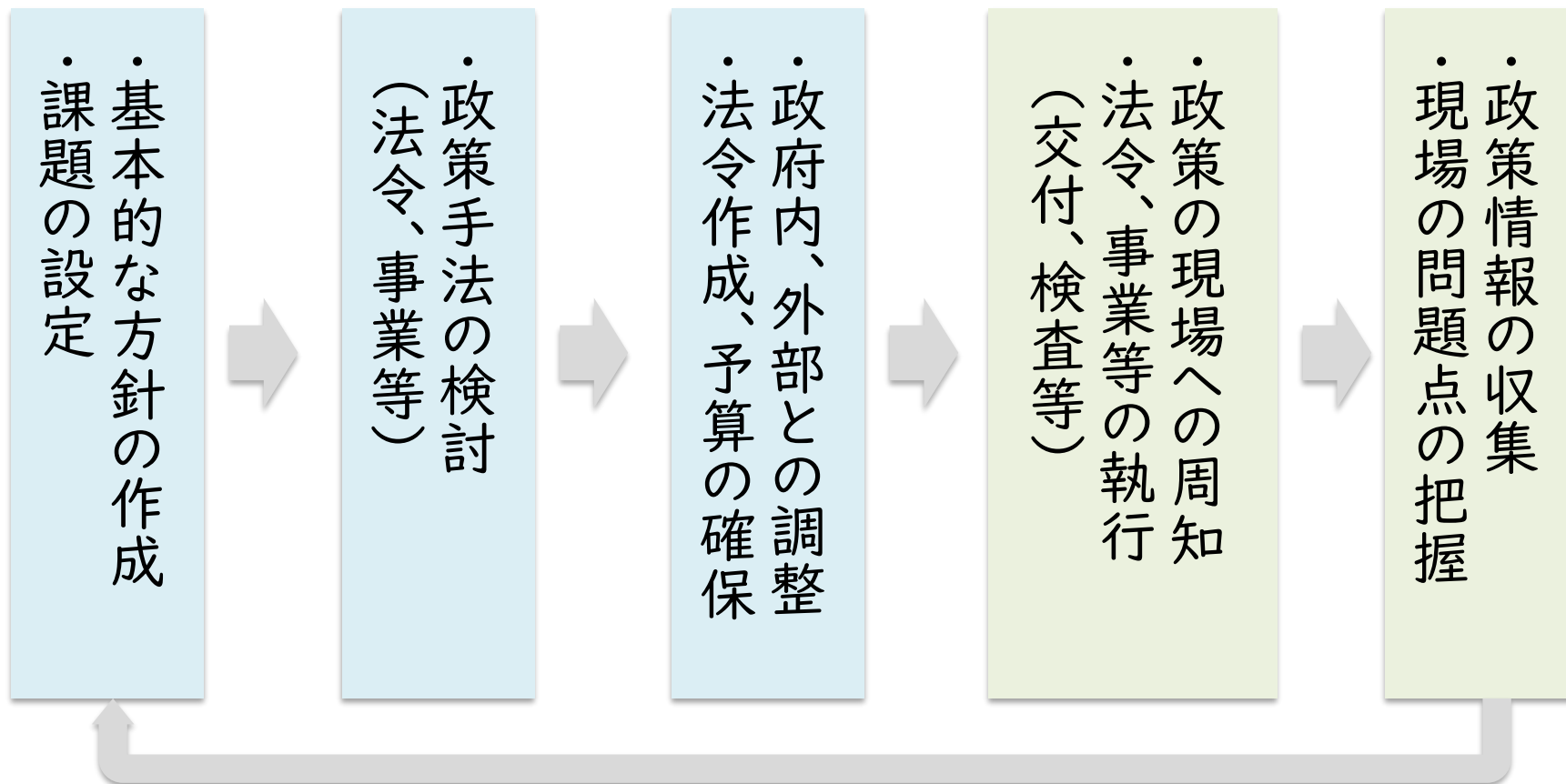
わたしたち農林水産省は、  
いのち  
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を  
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、  
常に国民の期待を正面から受けとめ  
時代の変化を見通して政策を提案し、  
その実現に向けて全力で行動します。

# 農林水産行政の流れ

農林水産業を取り巻く様々な課題をどうすれば解消できるのか？  
成長産業化のため、どのような仕掛けが必要か？

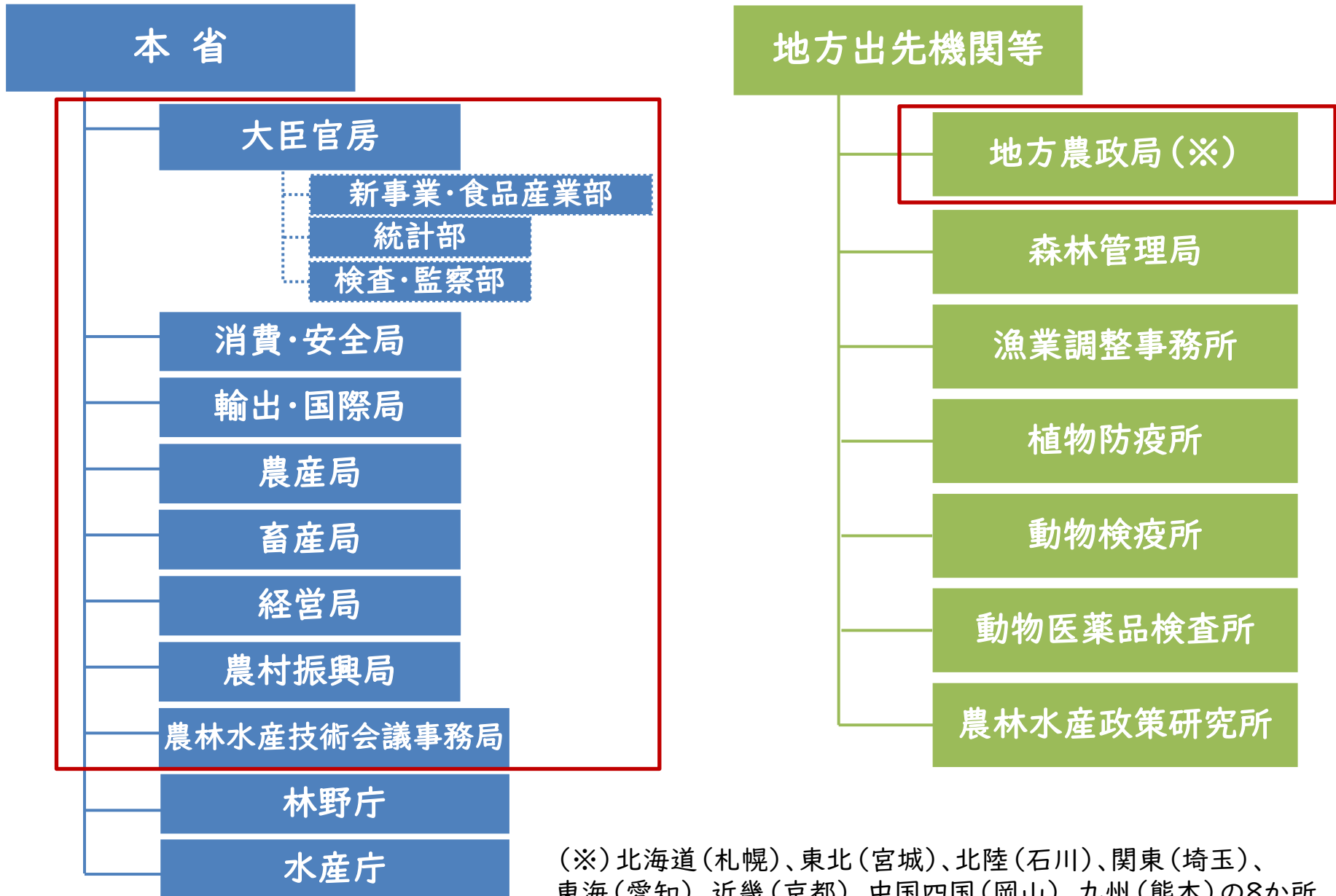
## 政策の企画・立案 (主に本省)

## 政策の実行 (主に地方農政局)



# 農林水産省の組織

農業技術系職員の主な配属範囲



## 2.各部署の概要

---

# 大臣官房

- 基本的な政策ビジョンの策定
- 法令案の審査や予算編成
- 災害対策
- 食料安全保障
- 環境政策
- デジタル化の推進
- 統計調査
- 食品産業の振興



# 消費・安全局

---

- 農場から食卓までの安全管理
- 食品表示の適正化
- 家畜や農作物の病害虫の蔓延防止
- 望ましい食生活の実現に向けた食育の推進



# 輸出・国際局

---

- 輸出産地の育成
- 貿易交渉
- 知的財産権の保護・活用
- 国際協力



# 農産局

---

- 各品目の生産振興
- スマート農業や有機農業の普及
- GAP(農業生産工程管理)の普及



# 畜産局

---

- 畜産物の生産・流通・消費に関わる振興施策の推進
- 畜産農家の生産性向上に向けた取組



# 経営局

---

- 農地の集積
- 担い手支援
- 新規就農対策
- 農業保険の推進
- 農協への指導監督



# 農村振興局

- 農業基盤の整備と保全  
(農地、水利施設など)
- 地域資源の活用
- 都市と農村の交流促進
- 農福連携





# 3.働く環境について

---

# キャリアイメージ

## 総合職

本省において政策の企画立案などコアとなる業務の研鑽を積みつつ、出向による多様な勤務機会を経て、能力・経験を養成し、組織のリーダーとして活躍！

## 一般職

地方農政局において事業執行や現場での情報収集等の農業施策の実施に関する業務経験を積みつつ、本省で政策の企画・立案も経験し、様々な部署を経験して行く中で、生産振興、経営、輸出国際、食品産業などそれぞれの適性にあった専門分野のスペシャリストとして活躍！

- ✓毎年、配属希望調査を実施
- ✓部署異動は2～3年に1度が基本形

- ✓出向による多様な勤務機会
- ・他省庁、都道府県、市町村
- ・国際機関、在外公館、JETRO、JICA
- ・民間企業 等

内定後面談あり  
(配属希望など)



係員

係長

課長補佐

課室長

指定職  
(局長、部長等)

農政全体を学びつつ、  
仕事の仕方を覚える

特定の業務を担当し、  
課室や班の柱となる

班を率いて対外調整を  
担いつつ、政策の企画・  
立案、実施を主導する

課のトップとして  
意思決定を行う

部や局のトップとして  
意思決定を行う

# 世界で活躍している職員も多数!

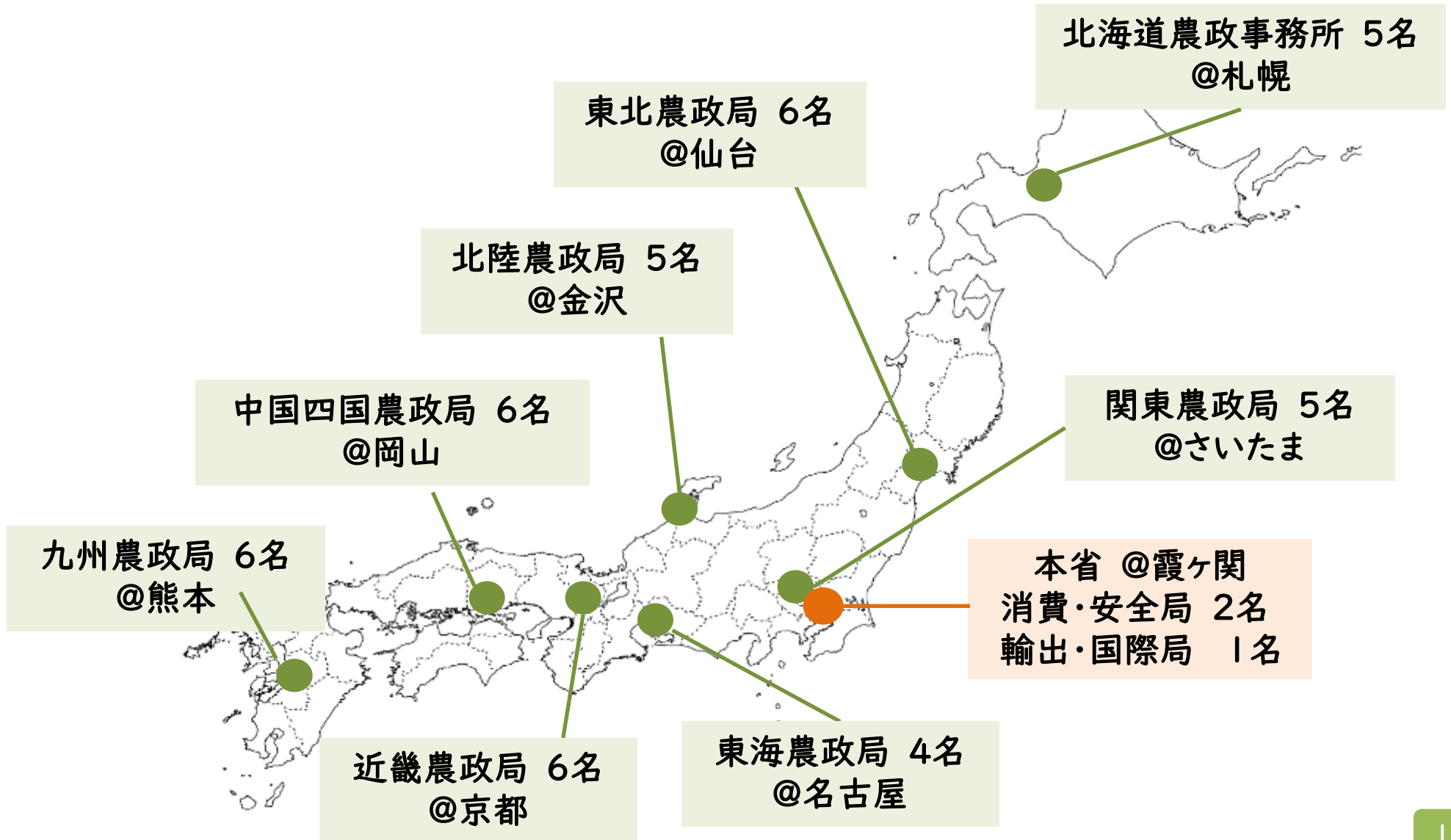
ヨーロッパ	アジア	北米	
<p>イタリア大使館 オランダ大使館 スペイン大使館 デンマーク大使館 ハンガリー大使館</p> <p>ジェトロロンドン事務所 ジェトロパリ事務所</p> <p>欧州連合日本政府代表部(ブリュッセル) ジュネーブ国際機関日本政府代表部</p> <p>経済協力開発機構日本政府代表部(パリ) 等</p>	<p>英国大使館 スイス大使館 チェコ大使館 ドイツ大使館 フランス大使館</p>	<p>インド大使館 インドネシア大使館 カンボジア大使館 シンガポール大使館 スリランカ大使館 タイ大使館 大韓民国大使館 中華人民共和国大使館 上海総領事館 香港総領事館 釜山総領事館 ネパール大使館 パキスタン大使館 バングラデシュ大使館 フィリピン大使館 ベトナム大使館 ホーチミン総領事館 マレーシア大使館 ミャンマー大使館 ラオス大使館 ジェトロシンガポール事務所 ジェトロバンコク事務所 ジェトロ香港事務所 ASEAN日本政府代表部 等</p>	<p>北米</p> <p>アメリカ大使館 サンフランシスコ総領事館 シアトル総領事館 シカゴ総領事館 ニューヨーク総領事館 ロサンゼルス総領事館 カナダ大使館 カルガリー総領事館 トロント総領事館 ヒューストン総領事館 ジェトロロサンゼルス事務所 国際連合日本政府代表部 等</p> <p>中南米</p> <p>アルゼンチン大使館 ウルグアイ大使館 コロンビア大使館 チリ大使館 パラグアイ大使館 ブラジル大使館 サンパウロ総領事館 メキシコ大使館 等</p>

※2025年4月現在。情勢・政策等に応じて派遣する在外公館等は変動します。

※このほかにも、FAOやOECD等の国際機関に派遣されている職員、協力事業により海外に派遣されている職員や留学している職員などもあります。

# R7年入省の一般職農業技術系職員の配属先

(R7.4.1時点)



# R5年入省の一般職農業技術系職員の配属先

(R7.4.1時点)



## 本省

大臣官房 4名

新事業・食品産業部 3名

消費・安全局 2名

輸出・国際局 6名

農産局 10名

経営局 6名

農村振興局 1名

農林水産技術会議事務局 6名

他省庁(出向) 1名

# 働く環境について

## 多様な研修、サポート



- ・語学、ITなど多様な研修
- ・メンター制度(1年目職員)
- ・パルスサーベイ(~10年目職員)

## 超過勤務(本省R5)

22.0時間/月



- ・超過勤務時間は**減少傾向**
- ・水、金曜日は定時退庁日

## 年休取得(R5)

15.3日



- ・1時間単位で取得可能
- ・月1年休の取得を推進

## テレワーク フレックスタイム制



働く時間、場所を柔軟に  
変えることで仕事と家庭を両立

## GSS端末



- ・持ち運び可能なPC
- ・共同編集で業務を効率化

## 育休取得(R5)

男性 84.0%  
女性 100.8%



# 職場の様子

～オフィス改革 進行中～  
打合せスペースや  
集中作業スペースが  
整備されています。



おいしいランチを  
食べられる食堂が  
6か所あります！

# 農林水産省の独自の研修制度（農村派遣研修）

- 入省2年目の職員を対象とし、全国の農家・漁家の一員として働くことで農林水産業の実情を経験。
- 農村地域の抱える課題や政策の受け止められ方などをリアルに感じられる。
- 実施期間は本省、農政局で異なり、本省に在籍する場合は最大1か月間。

## ①農作業



## ②関連作業

(加工、集荷準備や  
直接販売等)



## ③意見交換の場



## ④地域の見学



研修の様子はこちら!  
(農林水産省HP)

# 若手がチャレンジできる環境（省内公募制のプロジェクト）

## 政策OPEN LAB

有志職員がチームを組み、勤務時間の1~2割を使って新規の課題解決プロジェクトを立案・実行。

### 例) 有機食品消費拡大プロジェクト

コンビニメーカーと連携し、消費トレンドを踏まえた有機食品のPR方法を検討



## BUZZ MAFF (You Tube)

農林水産省や日本の農林水産業の魅力を発信するプロジェクト。

全て職員がやっています！



案出し  
企画



撮影  
編集



公開



↑是非ご覧ください！



# その他研修制度について（留学制度）

○ 以下のような人事院が実施する研修に参加することができます。

## ●海外留学制度

### 【概要】

- ・ 人事院の長期在外研究員制度により、海外の大学院の修士課程等へ2年間派遣する制度。
- ・ 語学力が一定以上あり、留学意欲、将来の国際関係業務への従事意欲が高い者が選考される。
- ・ 農業技術系では毎年3～5名程度が留学。



## ●国内留学制度

### 【概要】

人事院の国内研究員制度により、国内の大学院の修士課程や博士課程に2～3年間派遣する制度。



# 職場環境の改善

- 全職員に持ち出し可能な端末（セキュア端末）が配布され、全職員が新しいソフトウェア（Microsoft M365 E5 (Teams等)）を活用できるシステム環境となっています。

## 通信環境が大幅に改善!

- ・広帯域で高セキュリティの回線が配備。
- ・庁舎内LANは、高速なWifi (Wifi6) 通信が可能に。



## すべて持ち出し可能な端末に!

- ・全職員に、高機能、高セキュリティ機能を備え軽量端末（セキュア端末）が配布。
- ・庁舎外でも携帯電話の電波が届く場所であれば、業務が可能。



## Teams等の利用で働き方が変革!

- ・Teamsは、チャット、ウェブ会議、ファイル共有、ファイルの共同編集といった機能が集約された新しいコミュニケーションツール。
- ・ライセンスは全職員に配布され、誰でもウェブ会議を開催。

- ・Teamsのほか、データ分析ができるPowerBI、業務を自動化できるPowerAutomateなども全職員利用可能。



## BYODで外出先でもコミュニケーションOK!

- ・私物スマートフォンに、Teamsなどのアプリケーションをインストールすることが可能。
- ・これにより、外出中でも、チーム会合に参加することが可能。また、写真などの映像をTeamsに投稿することができるので、例えば、災害現場の状況などをリアルタイムに報告することが可能。  
(注) BYOD: 私物端末の業務利用



# ワークライフバランス

育休取得率 男性:84.0%、女性:100.8%

(令和5年度)

(参考)

外務省 男:42.3%、女:92.7%  
厚労省 男:97.2%、女:102.7%  
経産省 男:72.2%、女:109.3%  
国交省 男:73.4%、女:114.0%  
環境省 男:68.8%、女:110.5%

▶ R4年度から、子どもが生まれた男性職員は「1ヶ月以上育見に伴う休暇・休業を取得する」ことが前提となり、省全体で男性の育見休業取得を推進しています。

## 農林水産省に併設された保育園



(例) 育見と両立する場合

### 【女性】出産～育見休業

- ・産前休暇(産前6週間前から出産の日まで)
- ・産後休暇(出産の翌日から8週間)
- ・育見休業(子が3歳に達するまで)

### 【男性】配偶者の出産～育見休業

- ・配偶者出産休暇(出産時の付き添いで2日)
- ・育見参加のための休暇(妻の産前産後期間中に5日)
- ・育見休業(子が3歳に達するまで)

### 【育見休業復帰後】仕事と育見の両立

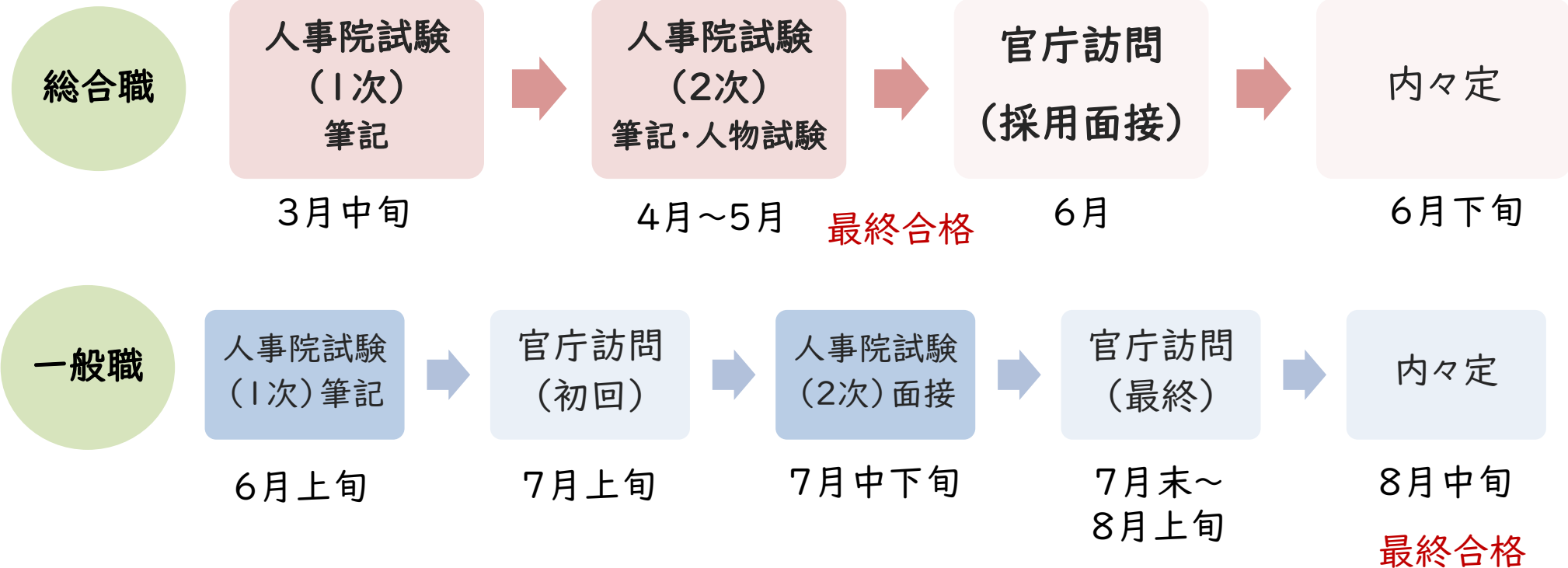
- ・育見短時間勤務(通常よりも短い勤務時間で勤務)
- ・子の看護休暇(年5日)
- ・テレワーク、フレックスタイム制



## 4. 農業技術系職員として働くには

---

# 内々定までの大まかな流れ(2025年度)



(参考) 今年度の試験情報(人事院HP)はこちら▶



# 採用区分について

	事務系（事務官）	技術系（技官）
総合職	<ul style="list-style-type: none"> <li>●院卒者試験 「行政」 「法務」</li> <li>●大卒程度試験 「政治・国際」 「法律」 「経済」 「教養」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●院卒者・大卒程度試験 「農業科学・水産」 「農業農村工学」 「森林・自然環境」 「化学・生物・薬学」 「工学」 「デジタル」 「数理科学・物理・地球科学」 「人間科学」 「教養」</li> <li>●獣医系技術職（総合職相当）</li> </ul>
一般職	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大卒程度試験 「行政」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大卒程度試験 「農学」、「化学」、「物理」 「農業農村工学」、「機械」 「デジタル・電気・電子」 「林学」、「土木」、「建築」</li> <li>●畜産系技術職（一般職相当）</li> <li>●水産系技術職（一般職相当）</li> </ul>

# 総合職試験(技術系)と農林水産省の採用区分

採用区分	農業技術系	農業工学系	水産庁	水産工学系	林野庁
試験区分 (※2)	○農業・食料全般 ○スマート農業 ○食品安全	○農業農村整備 ○農村地域づくり	○水産全般 ○水産技術	○漁港・漁場整備 ○漁村の振興	○森林・林業全般
農業科学・水産	○		○		
化学・生物・薬学	○		○	○	
数理学・物理 ・地球科学	○		○	○	
人間科学	○		○	○	
教養(※2)	○		○	○	
工学	○	○	○	○	
デジタル	○	○	○	○	○
農業農村工学	○	○			
森林自然環境	○				○

(※1) 専門と試験科目がそぐわない場合等、何かあれば個別にご相談ください。

(※2) 既合格者向け官庁訪問は対象外です。

# 国家公務員一般職試験(技術系)と農林水産省の採用区分

採用区分	農業技術系 (本省一括採用)	農業土木・ 調査計画系 (農政局採用)	畜産系 (本省採用)	統計部IT系 (本省採用)	水産工学系 (水産庁採用)	林野庁 (林野庁採用)
試験区分	○農業・食料全般 ○スマート農業 ○食品安全	○農業農村整備 ○農村地域づくり	○畜産振興 ○畜舎等の建築	○情報セキュリ ティ、デジタル化 ○統計	○漁港・漁場整備 ○漁村の振興 ○水産技術	○森林・林業全般
農学※	○	○	※別途 畜産系技術職 (一般職相当) 有り	○		
化学※	○	○		○		
物理	○	○		○	○	
デジタル・電気・ 電子	○	○		○	○	○
機械	○	○		○	○	○
農業農村工学		○				
土木		○			○	○
林学※						○
建築			○		○	○

(※1) 専門と試験科目がそぐわない場合等、何かあれば個別にご相談ください。

(※2) 「農学」「化学」「林学」は、上記のほか植物防疫系(植物防疫所採用)の対象

(※3) 統計部IT系は「行政」も採用。

# 業務や政策、働く職員について知ることができる様々なイベントを企画しています!

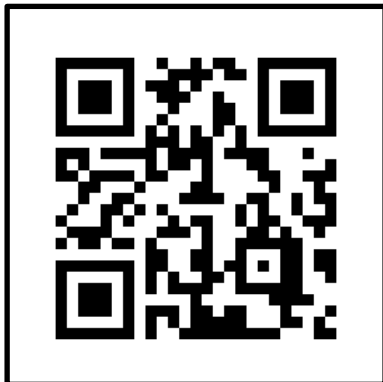
- 業務や試験対策など、基本的なことが知りたい  
→ **ビギナー向け業務説明会、個別相談会**がおすすめ!
- 政策や働く職員について、より深く知りたい  
→ **政策講演、大学別キャリア講演、座談会**がおすすめ!
- OB・OG訪問を随時受付中!メールでご連絡ください。



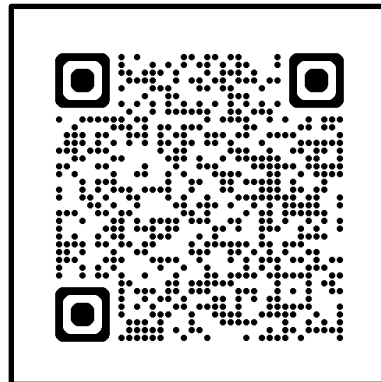
【マイページ登録】  
イベントの予約はこちら!



【説明会一覧】



【採用HP】



【採用パンフレット】

## お問合せ

農林水産省大臣官房秘書課企画第1班  
技術系採用チーム 齊藤、内田、徳田  
(電話) 03-6744-2001  
(メール) saiyou\_kanbou@maff.go.jp

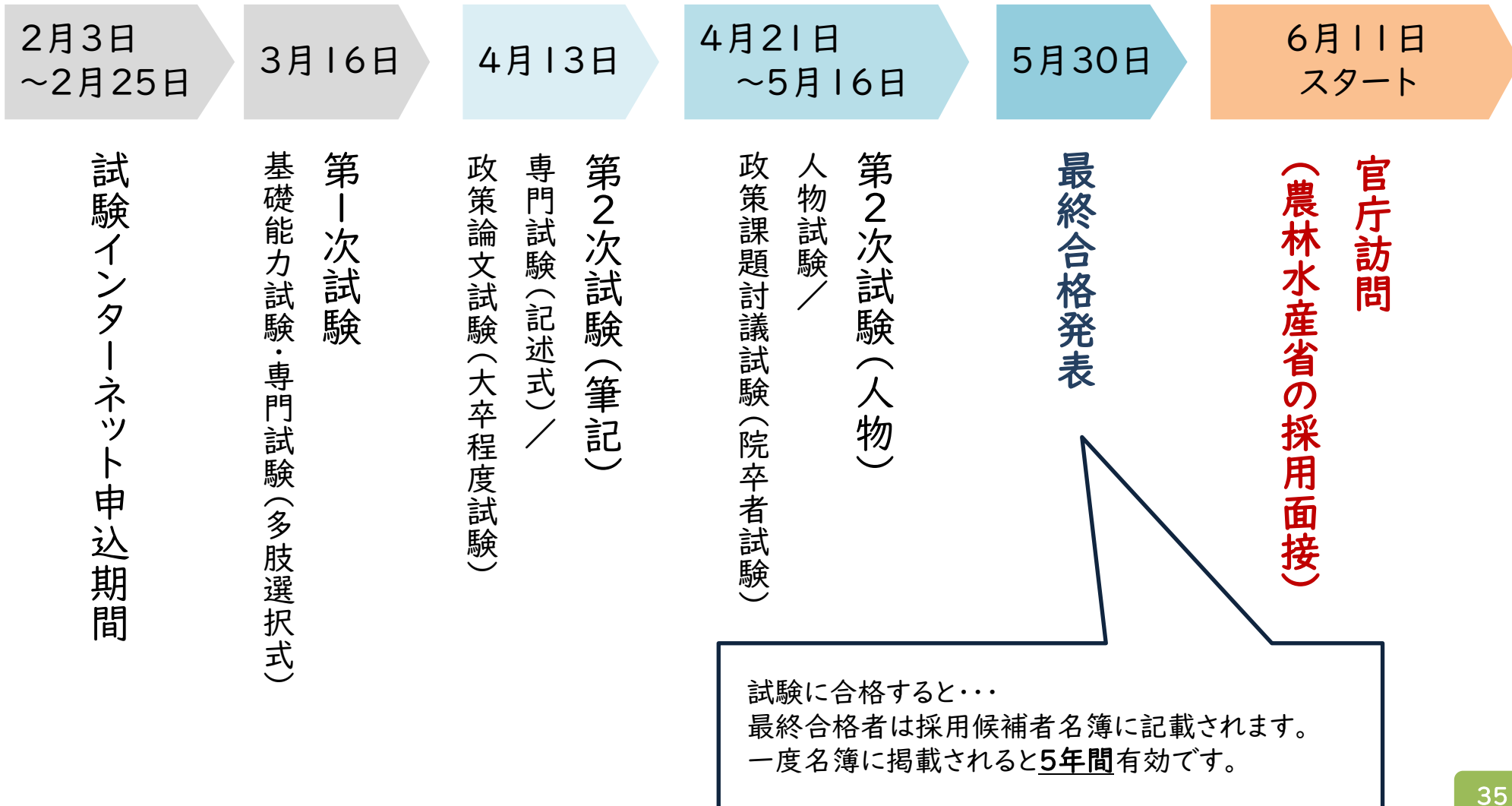
## 5. 質疑応答

---

終了時間まで承ります！

# 【参考】2025年度 総合職試験・採用スケジュール

※ 下記のほか、6月2日～6日に既合格者の官庁訪問も実施。





# 【参考】2025年度一般職試験・採用スケジュール（農業技術系）

2月20日  
～3月24日

試験インターネット申込期間

6月1日

第1次試験（多肢選択式・記述式）

6月25日

第1次試験合格発表

7月2日  
スタート

官庁訪問  
（農林水産省の採用面接）

7月9日  
～25日

第2次試験（人物）

7月31日  
8月1日

最終面接  
（農林水産省の採用面接）

8月12日

最終合格発表

試験に合格すると・・・  
最終合格者は採用候補者名簿に記載されます。  
一度名簿に掲載されると5年間有効です。

# 【参考】2025年度 一般職 官庁訪問スケジュール

6月		7月									8月								
25	～	2	3	4	5 ・ 6	7	8	～	31	1	2 ・ 3	4	5	6	7	8	～	12	
水	～	水	木	金	土 ・ 日	月	火	～	木	金	土 ・ 日	月	火	水	木	金	～	火	
↓ 次試験 合格発表		← 初回訪問(土日除く) いずれか1日訪問いただきます									↔ 最終面接 いずれか1日訪問いただきます								最終合格発表
		8月12日(火)9時 内々定解禁!																	
予約受付は6/25(水)10時～6/30(月)まで(予定)																			